令和６年度　学校経営計画

東京都立保谷高等学校

目指す学校	**教育目標「知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する」** ●スクールミッション 知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成し、知・徳・体を兼ね備えた人間性を高めます。継続的で地道な努力・忍耐力・突破力を重視する「心」の教育を実践し、進路希望を実現するために一人一人の生きる力を向上させます。 ◆グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針） 「知性」を高める～知を磨く～　　「人間味」豊かにより善く生きる～心を育てる～　　「心身」ともに向上しようとする～体を鍛える～ ◇知識及び技能 ・基礎学力　基礎基本となる知識や概念を理解し定着させ、必要な技能(読み書き計算、情報リテラシー等)を正しく習得し活用できる。 ・情報読解力　文章やグラフ、図表などから課題解決に必要な情報を取り出し，正確に読み解ける。 ・体力向上力／健康保持力　生涯にわたって様々な運動を行う技能および健康を保持するための知識を正しく習得し活用できる 。 ◇思考力、判断力、表現力等 ・情報活用力　課題や目的に応じて情報を収集した上で，内容に応じた取捨選択やその表現方法について適切に判断し活用できる。 ・論理的思考力　帰納的・演繹的・類推的な思考を組み合わせ，物事を体系的に整理し矛盾や飛躍のない筋道を立てられる。 ・発信力　自らの思考等について文章化や図表化を適切に行い，わかりやすく相手に伝えられる。 ◇学びに向かう力、人間性等 ・自己管理能力　自らの課題を把握し目標を設定した上で，計画を立てて行動し自己評価に基づき改善を図ることができる。 ・主体的行動力　身のまわりの現象等から課題を発見し，自らの意思や判断によって課題解決へ向けて行動できる。 ・調整力・協働力　課題解決へ向けて様々な人の意見に耳を傾け，相手の立場を尊重した上で適切に相互協力することができる。 ◆カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針） ・よく学び，よく考え，善く行動する人を育成するために生徒主体の教育を行う。 ・心を育て，人間性を向上させるとともに，何事にも全力で取り組む生徒を育成する。 ・生徒の高い進路希望を実現するために，学習指導および進路指導を行う。 ・国際社会に対応し，多様な人々と意思疎通が図れる生徒を育成する。 ・学習活動と特別活動（学校行事や部活動等）とのバランスをとり，全ての教育活動を通じて豊かな人間性を育む。 ◆アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針） 保谷高校は、教育目標「知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する」に基づき、生徒主体の教育活動を実践することで、知・徳・体を兼ね備えた人間の育成に努めてきました。その結果、生徒の夢を実現させる高校として着実に歩んでおり、地域からの信頼は年々高まっています。そこで、次のような生徒の入学を期待します。 ・大学進学をはじめ、自らの進路についてよく考え、主体的に学習に取り組む生徒 ・本校志望の意志が強く、学習と部活動や生徒会活動、委員会活動及び学校行事が両立でき、かつ、それらに積極的に取り組むことができる生徒 ・本校の教育目標と教育内容、伝統と校風をよく理解し、ルール・マナーをしっかりと守る心構えのある生徒

中期的目標	東京都教育委員会の基本方針、東京都教育施策大綱、東京都教育ビジョン等を踏まえ、以下の諸観点を重視した学校づくりを推進します。 １　学習指導　全ての教科で授業内容と達成度を検証し、教育課程の見直しを図り、生徒が知的好奇心を高め、自ら学び、考える力を養い、学力向上と幅広い視野の獲得を目指します。 ２　進路指導　組織的・計画的な進学指導体制を充実させるとともに、３年間を見通したキャリア教育を推進し、生徒の希望進路の実現、自ら未来を切り拓く力を身に付けさせます。 ３　生活指導　基本的生活習慣の定着を基盤として、個性や想像力を伸長し、人権尊重の精神を養いながら他者理解と規範意識を育てます。 ４　広報活動　ホームページ更新等によって適時学校広報を行い、組織的な募集対策体制を作り学校の魅力を伝えながら、志望者の開拓と募集活動に取り組みます。 ５　安全健康　生涯にわたる心身の健康維持・増進について考え、判断、行動できる力を育成し、全ての生徒が安心して通える学校環境を作り、誰一人取り残さないきめ細かな教育活動を行います。 ６　学校組織　課題解決に向けた適正な学校経営と意思決定、地域連携強化、適正な予算編成執行と施設設備の改善に努め、生徒の学びを支える教職員・学校の力を強化します。

今年度の取組と方策	1　学習指導 〈生徒一人一人の能力を伸ばす〉 ☆もっと学びたくなる授業 ・授業規律 生徒の授業集中力向上 ・授業改善 内容の充実、考えさせる授業 教員相互の授業参観 生徒による授業評価 ・観点別評価の適切な実施 ・デジタル技術を活用した学習 ☆学習時間拡大 ・補習、講習 ・学習習慣の確立 ・一人１台端末の活用 ☆グローバル人材育成 ・英語教育研究推進校指定 外部試験の活用 ・総合的な英語力の育成 ・海外学校間交流推進校指定 海外修学旅行の実施	2　進路指導 〈自ら未来を切り拓く力の育成〉 ☆進学指導研究校指定 ・模試受験準備と振り返り指導 ・年間進路指導計画の検討 ☆学習機会提供 ・長期休業日中の講習 ・自習支援 ☆指導体制確立・生徒に寄り添った指導の展開 ・学年団と進路部の連携強化 ・保護者会の充実 ☆キャリア教育による意識向上 ・進路情報提供 ・個別指導の充実 ・探究活動	3　生活指導 〈生活習慣、規範意識醸成〉 ☆基本的生活習慣の定着 ・服装、身だしなみを整える ・遅刻指導 ・日常的な声かけ、挨拶指導 ・SNS の適切な使用指導 ・他者理解 ☆生徒が生き生きとする環境 ・特別活動、学校行事の充実 ・生徒主体の活動促進 ・部活動活性化促進 ・「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」の遵守 ☆相談体制の充実 ・生徒個別面談 ・校内教育相談体制の確立 ・スクールカウンセラー活用 ・個別指導計画の作成	4　広報活動 〈学校特色の推進・広報活動〉 ☆魅力ある学校 ・環境、教育内容改善充実 学力向上 (1 学習)幅広い視野 (2 進路)進路実現 (3 生活)活躍できる環境提供 ☆魅力アピールの方法検討 ・広報活動充実 ・効果的な演出 ・ホームページ活用 生徒の活動状況掲載 ・中学校・塾訪問等地域連携 ・グランドデザインの活用	5　安全・健康 〈誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実〉 ☆生徒の安心と安全、環境 ・事故の未然防止、教職員研修 ・三者面談の全学年実施 ・いじめ体罰防止の取組 ・汚損箇所修復、校内美化 ・通学時の安全指導 ・ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾀｰとの連携 ・薬物乱用防止等ｾｰﾌﾃｨ教室 ・避難訓練実施、防災意識涵養 ・「子供が安心して生活できる学校づくり検証事業」実施 いじめ対応サポーター活用 ・教育相談センターと連携 ☆生徒の体力向上 ・「TOKYOACTIVE PLAN for students」を参考に ・健康的な生活スタイル確立 ・スポーツライフの推進	6　学校組織・働き方改革 〈生徒の学びを支える教職員・学校の力の強化〉 ☆協力体制構築と明るい職場 ・服務事故防止研修 ・コンプライアンス徹底 ・職員室と経営企画室連携 ・経営目標に基づく企画室参画 ☆課題解決に向けた組織の確立 ・組織的 PDCA サイクル徹底 ・企画調整会議が柱の学校運営 ・OJT、業務継承と人材育成 ☆地域関係機関との積極的連携 ・学校運営連絡協議会 ・地域行事を活用した健全育成 ☆教職員の心身の健康 ・働き方改革、時間外労働短縮 ・教職員アウトリーチ型相談事業実施
重点目標	・教員相互授業参観　500 回 (R5 543 回 / R4 382 回) ・生徒授業満足度向上　80% (R5 76.9% / R4 79.8%) ・授業外学習時間 １年　６０分 (R5 30 分 / R4 48 分) ２年　９０分 (R5 36 分 / R4 53 分) ・外部模試偏差値　50.0 １年　(R5 47.3 / R4 46.4) ２年文　(R5 46.1 / R4 45.9) ２年理　(R5 43.5 / R4 43.7) ・英検準２級以上合格者 200 名 (R5 87 名 / R4 101 名)	・休業日講習受講者数 4000 名 (R5 3023 名 / R4 3384 名) ・共通テスト英語偏差値 53.0 (R5 47.1 / R4 52.7) ・現役進路決定率　95% (R5 88.0% / R4 94.8%) ・４年制大学現役合格　600 名 (R5 544 名 / R4 610 名) ・国公立大学現役合格　5 名 (R5 0 名 / R4 4 名) ・私立早慶上理現役合格　10 名 (R5 2 名 / R4 7 名) ・GMARCH 現役合格　40 名 (R5 35 名 / R4 36 名) ・成成獨国武明学現役　60 名 (R5 53 名 / R4 57 名) ・日東駒専現役合格　100 名 (R5 97 名 / R4 83 名)	・年間遅刻 30 回以上生徒 10 名 (R5 26 名 / R4 23 名) ・年間遅刻述べ回数　2000 回 (R5 4423 回 / R4 4325 回) ・部活動加入率　95.0% (R5 95.0% / R4 92.0%) ・学校満足度/生徒　65.0% (R5 55.1% / R4 64.2%) ・学校満足度/保護者 80.0% (R5 61.3% / R4 79.6%) ・特別活動満足度/生徒 80.0% (R5 70.8% / R4 80.2%)	・文化祭来場者 3000 名 (R5 4232 名 / R4 1739 名) ・学校説明会参加者数 1800 名 (R5 1678 名 / R4 1674 名) ・中学校進学対策委員会倍率 1.40 倍 (R5 1.51 倍 / R4 1.29 倍) ・入学選抜応募倍率 推薦　3.20 倍 (R5 3.16 倍 / R4 3.32 倍) 学力　1.60 倍 (R5 1.70 倍 / R4 1.43 倍) ・ホームページ更新回数 500 回 (R5 772 回 / R4 348 回)	・生徒に関する学校事故ゼロ ・危険箇所の速やかな対応、 不要物品廃棄 ・校内美化の取組 ・学校保健委員会開催 ・産業医、安全衛生委員会活用 ・心の病による休職者ゼロ ・特別支援教育に関する委員会開催回数　15 回 (R5 14 回 / R4 22 回) ・統一体力テスト 体力合計平均値　56.0 (R5 56.8% / R4 55.9%)	・服務事故ゼロ ・学校事故苦情ゼロ ・執務環境、職員室の整備 ・学校開放委員 ・一般需用費のセンター執行率 50.0% (R5 49.5% / R4 45.8%) ・教職員の月あたりの時間外 在校時間４５時間以下 ・教職員アウトリーチ型相談事業対象職員全員面談実施